



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社JMC 上場取引所 東
コード番号 5704 URL <https://www.jmc-rp.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長兼CEO （氏名）渡邊 大知
問合せ先責任者 （役職名）取締役兼CFO （氏名）篠崎 史郎 TEL 045-477-5751
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	2,394	11.5	8	46.5	2	△75.4	△4	—
2024年12月期第3四半期	2,147	△19.5	6	△98.7	10	△97.7	3	△98.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	△0.81	—
2024年12月期第3四半期	0.71	0.71

（注）2025年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期第3四半期	4,242	2,906	68.5	523.36
2024年12月期	4,701	2,901	61.7	524.30

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 2,906百万円 2024年12月期 2,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,130	1.9	20	△77.3	12	△90.2	6	△88.2	1.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	5,598,500株	2024年12月期	5,597,700株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	44,800株	2024年12月期	63,200株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	5,546,256株	2024年12月期 3 Q	5,582,266株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期貸借対照表に関する注記)	9
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(収益認識関係注記)	10
(1株当たり情報に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間（2025年1月1日～2025年9月30日）における我が国経済は、米国との通商政策の影響が一部にみられるものの、現時点で大きな景気後退要因には至らず、緩やかな回復基調が続いております。一方で、地政学的リスクの長期化、資材・人件費に代表される製造コストの高騰など、依然として景気下振れの懸念要素に変化はなく、今後の情勢を注視していく必要があります。

当社を取り巻く試作・開発市場は、引き続きEV（電気自動車）開発が本格化することで複雑な形状や、ギガキャスト（注1）の試作需要が増加しております。また、FA（ファクトリーオートメーション（注2））分野では、製造業をはじめとしたものづくりにおいて高度な自動化要求の高まりから、各社の開発フェーズが進みつつあり、当社ではこれらの市場に対し、大型鋳造品を量産まで提供する体制の確立を進め、様々な提案活動を展開しております。

しかしながら、鋳造事業の一部の製品製造においては、チャレンジ要素が大きく、納品必要数の確保に対し、生産コストを想定以上に費やしております。また、これらの状況の改善を優先したことで、効率的な生産体制の確立に時間を要することとなり、セグメント利益の回復が遅れております。

このような環境の中、当社は3Dプリンター事業での造形用設備の増強による造形バリエーションとコスト競争力の強化をはじめ、各事業セグメントで利益確保に努めましたが、鋳造事業の収益性の低下を補うことができず、全社通期業績の修正を余儀なくされました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高2,394,648千円（前年同四半期比11.5%増）、営業利益8,845千円（前年同四半期比46.5%増）、経常利益2,630千円（前年同四半期比75.4%減）、四半期純損失4,507千円（前年同四半期は四半期純利益3,980千円）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 3Dプリンター事業

3Dプリンター事業におきましては、心臓カテーテルシミュレーター「HEARTROID」での積極的な販売促進活動により海外顧客案件の獲得が進捗いたしました。

また、工業向け試作品を中心とした出力サービスは、営業人員増強により案件提案スピードを早め、各種展示会等への出展も推進したことで、受注量の増加が続きました。さらに、微細な造形を可能とする装置や、オリジナル造形機の導入を図り、造形バリエーションの拡張とコスト競争力を強化したことで、順調な推移となりました。

この結果、3Dプリンター事業の売上高は505,552千円（前年同四半期比9.3%増）、セグメント利益は131,658千円（前年同四半期比25.3%増）となりました。

② 鋳造事業

鋳造事業におきましては、国内外の自動車メーカー各社及びTier 1（ティアワン）部品メーカーを中心としたEV関連部品の開発案件、FA分野では産業用ロボット向けの大型鋳造品の試作案件ならびに補給部品案件の獲得が進みました。高難度、大型鋳造部品の受注が継続する一方で、新たな素材による量産を見据えた試作プロジェクトや、製造技術の獲得、品質管理体制の確立に時間を要し、コスト面で想定を上回るマイナスの影響が継続しております。

生産面では、ギガキャストをはじめとした大型鋳造品生産のための設備導入と並行して量産体制の整備を進めることで、受注バリエーション、受注量の増加に備えておりますが、生産体制の効率化には時間がかかる見通しです。

この結果、鋳造事業の売上高は1,581,204千円（前年同四半期比21.7%増）、セグメント利益は25,084千円（前年同四半期はセグメント損失33,508千円）となりました。

③ CT事業

CT事業におきましては、計測装置メーカー主催のセミナーへの登壇や、自社主催セミナーの再開、「BATTERY JAPAN（バッテリージャパン）国際二次電池展」への出展など、産業用CTの認知拡大に注力したことで様々な業種からのスキャンサービス需要の獲得は順調に進みました。一方で数量ボリュームのある非破壊・選別案件の需要が少なく、案件が前年比で小規模化したことで、売上高・利益とも前年同四半期の実績を下回りました。

この結果、CT事業の売上高は307,890千円（前年同四半期比20.2%減）、セグメント利益は210,711千円（前年同四半期比28.2%減）となりました。

(注1) ギガキャスト

大型の鋳造設備で複数のアルミ合金部品を1つのパーツとして成型し、大型の車体部品を生産する方法です。当社では自動車生産工程のギガキャスト化を見据え、試作段階での大型アルミニウム鋳造品の提案を強化しております。

(注2) ファクトリーオートメーション

工場における生産工程の自動化を図るシステムのことです。当社は筐体の金属部品に、軽量かつ高強度のマグネシウム鋳造品やアルミニウム鋳造品を提案しております。

なお、当第3四半期累計期間の販売実績（内部取引を除く）を産業区分別に示すと次のとおりであります。

3Dプリンター事業

セグメント内産業区分	第34期 第3四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)		
	販売件数 (件)	販売金額 (千円)	比率 (%)
卸売業	308	230,991	45.7
精密機械・医療機械器具製造業	195	81,847	16.2
一般機械器具製造業	102	40,771	8.1
電気機械器具製造業	219	39,420	7.8
専門サービス業（他に分類されないもの）	49	28,314	5.6
その他の製造業	165	18,775	3.7
輸送用機械器具製造業	33	18,261	3.6
教育	28	11,997	2.4
学術研究機関	16	5,634	1.1
その他	190	29,539	5.8
合計	1,305	505,552	100.0

鋳造事業

セグメント内産業区分	第34期 第3四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)		
	販売件数 (件)	販売金額 (千円)	比率 (%)
一般機械器具製造業	1,280	724,823	45.9
卸売業	327	379,077	24.0
輸送用機械器具製造業	118	277,715	17.6
鉄鋼業、非鉄金属製造業	57	106,479	6.7
電気機械器具製造業	67	56,015	3.5
娯楽業	8	11,330	0.7
精密機械・医療機械器具製造業	16	10,031	0.6
自動車・自転車小売業	8	9,853	0.6
個人	4	2,600	0.2
その他	8	3,280	0.2
合計	1,893	1,581,204	100.0

C T 事業

セグメント内産業区分	第34期 第3四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)		
	販売件数 (件)	販売金額 (千円)	比率 (%)
卸売業	137	114,238	37.1
一般機械器具製造業	58	48,906	15.9
輸送用機械器具製造業	46	38,176	12.4
電気機械器具製造業	72	33,128	10.8
専門サービス業 (他に分類されないもの)	42	31,655	10.3
精密機械・医療機械器具製造業	16	9,950	3.2
その他の製造業	20	7,100	2.3
鉄鋼業、非鉄金属製造業	23	4,850	1.6
家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業	3	3,858	1.3
その他	53	16,027	5.1
合計	470	307,890	100.0

(注) 1. 産業区分に関しては、株式会社帝国データバンクのTDB産業分類表の中分類に従っております。
2. 販売件数、販売金額及び比率は、セグメント間の内部売上高又は振替高は含まれておりません。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,267,947千円となり、前事業年度末に比べ267,861千円減少いたしました。これは主に前渡金が97,319千円、現金及び預金が75,397千円、受取手形及び売掛金が68,858千円減少したことによるものであります。

固定資産は2,974,433千円となり、前事業年度末に比べ191,144千円減少いたしました。これは主に建設仮勘定が110,489千円、建物が21,422千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は4,242,380千円となり、前事業年度末に比べ459,006千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は861,995千円となり、前事業年度末に比べ149,463千円減少いたしました。これは主に短期借入金が150,000千円減少したことによるものであります。

固定負債は473,792千円となり、前事業年度末に比べ314,395千円減少いたしました。これは主に長期借入金が278,010千円、リース債務が36,511千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,335,787千円となり、前事業年度末に比べ463,859千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は2,906,592千円となり、前事業年度末に比べ4,852千円増加いたしました。これは主に、四半期純損失4,507千円計上したものの、自己株式が8,838千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績は、業績低迷の底打ち感はあるものの、当社の想定をやや下回って推移したことで、2025年2月14日公表の業績予想の達成は困難と判断をいたしました。このため2025年10月17日付で2025年12月期の業績予想を変更し、業績見通しの修正を行っております。

現時点において通期の業績予想につきましては、2025年10月17日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更はありません。ただし、今後の進捗状況によっては、鑄造事業セグメントにおける固定資産の回収可能性の可否について、慎重に検討いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	419,712	344,314
受取手形及び売掛金	484,585	415,727
電子記録債権	176,683	205,594
商品及び製品	38,736	29,252
仕掛品	88,120	101,955
原材料及び貯蔵品	81,599	110,412
前払費用	45,464	59,692
未収還付法人税等	59,805	—
前渡金	97,319	—
その他	44,217	1,408
貸倒引当金	△436	△410
流動資産合計	1,535,808	1,267,947
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,809,851	1,788,429
機械及び装置（純額）	359,187	360,470
土地	320,737	320,737
リース資産（純額）	147,732	92,807
建設仮勘定	152,965	42,476
その他（純額）	262,593	251,175
有形固定資産合計	3,053,067	2,856,096
無形固定資産	38,395	36,200
投資その他の資産	74,114	82,137
固定資産合計	3,165,578	2,974,433
資産合計	4,701,386	4,242,380

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	115,690	161,652
短期借入金	250,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	226,012	326,012
リース債務	80,203	53,788
未払金	229,211	100,338
未払法人税等	—	14,227
契約負債	11,206	53,829
賞与引当金	—	25,291
製品保証引当金	1,611	161
その他	97,522	26,693
流動負債合計	1,011,458	861,995
固定負債		
長期借入金	612,946	334,936
リース債務	85,041	48,529
資産除去債務	89,810	90,326
その他	389	—
固定負債合計	788,188	473,792
負債合計	1,799,646	1,335,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	817,533	817,733
資本剰余金	804,533	804,855
利益剰余金	1,310,031	1,305,523
自己株式	△30,358	△21,520
株主資本合計	2,901,740	2,906,592
純資産合計	2,901,740	2,906,592
負債純資産合計	4,701,386	4,242,380

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,147,903	2,394,648
売上原価	1,452,090	1,683,713
売上総利益	695,812	710,935
販売費及び一般管理費	689,775	702,089
営業利益	6,037	8,845
営業外収益		
受取利息	57	478
補助金収入	6,341	750
受取補償金	11,240	205
その他	1,780	1,575
営業外収益合計	19,420	3,009
営業外費用		
支払利息	8,073	7,151
為替差損	6,604	1,292
シンジケートローン手数料	92	—
コミットメントフィー	—	53
その他	—	726
営業外費用合計	14,770	9,224
経常利益	10,687	2,630
特別利益		
固定資産売却益	2,536	1,635
特別利益合計	2,536	1,635
特別損失		
固定資産除却損	0	3,984
特別損失合計	0	3,984
税引前四半期純利益	13,224	280
法人税、住民税及び事業税	4,791	9,588
法人税等調整額	4,452	△4,799
法人税等合計	9,244	4,788
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	3,980	△4,507

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	3D プリンター 事業	鋳造事業	C T 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	462,380	1,299,613	385,909	2,147,903	—	2,147,903
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	462,380	1,299,613	385,909	2,147,903	—	2,147,903
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	105,033	△33,508	293,298	364,824	△358,786	6,037

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△358,786千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	3D プリンター 事業	鋳造事業	C T 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	505,552	1,581,204	307,890	2,394,648	—	2,394,648
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	505,552	1,581,204	307,890	2,394,648	—	2,394,648
セグメント利益	131,658	25,084	210,711	367,455	△358,610	8,845

(注) 1. セグメント利益の調整額△358,610千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表に関する注記)

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行4行と当座貸越契約及び財務基盤の安定を図るため取引銀行1行とコミットメントライン契約を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年9月30日)
当座貸越極度額及び貸出コミットメントラインの総額	950,000千円	950,000千円
借入実行残高	250,000	100,000
差引額	700,000	850,000

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	272,512千円	284,456千円

(収益認識関係注記)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	報告セグメント			
	3Dプリンター 事業	鋳造事業	C T 事業	計
製品及び商品	457,905	1,299,613	32,176	1,789,695
その他・サービス	4,474	—	353,732	358,207
顧客との契約から生じる収益	462,380	1,299,613	385,909	2,147,903
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	462,380	1,299,613	385,909	2,147,903

(注) その他・サービスには、C T スキャン、装置等の保守及び修理、デジタルコンテンツ売上が含まれております。

当第3四半期累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	報告セグメント			
	3Dプリンター 事業	鋳造事業	C T 事業	計
製品及び商品	501,216	1,581,204	29,408	2,111,829
その他・サービス	4,336	—	278,482	282,818
顧客との契約から生じる収益	505,552	1,581,204	307,890	2,394,648
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	505,552	1,581,204	307,890	2,394,648

(注) その他・サービスには、C T スキャン、装置等の保守及び修理、デジタルコンテンツ売上が含まれております。

(1株当たり情報に関する注記)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失(△)	0円71銭	△0円81銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失(△)(千円)	3,980	△4,507
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失(△)(千円)	3,980	△4,507
普通株式の期中平均株式数(株)	5,582,266	5,546,256
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	0円71銭	—
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	36,875	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 当第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。